

78th BUSINESS REPORT

第78期

# 株主通信

平成30年4月1日～平成31年3月31日



**名工建設株式会社**

**MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.**

証券コード:1869

# ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第78期（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）の決算が確定いたしましたので、事業の概況と業績につきまして、ご報告させていただきます。今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年6月



代表取締役社長

渡 邊 清

## 1. 営業概要

当連結会計年度における我が国経済は、総じて企業業績は安定的に推移したものの、年度後半からは、米中貿易摩擦、英国のEU離脱問題、新興諸国経済の減速など海外情勢の不確実性の高まりから、先行きの不透明感が増してきております。

建設業界におきましては、公共投資や民間投資は堅調に推移するものの、労務費や建設資材などの建設コストの上昇懸念や慢性的な人手不足などもあり、楽観できない状況にあります。

当連結会計年度における当社グループの業績は、受注高は前期比11.0%増の92,491百万円となりました。売上高は前期比9.2%増の96,569百万円となりました。利益面では、経常利益は前期比1.0%増の5,971百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比4.2%減の4,099百万円となりました。

## 2. 中期的な経営戦略及び会社の対処すべき課題

建設業界の中長期的な受注環境は、大規模な自然災害への備えや社会資本の老朽化への対応、あるいは堅調な企業業績に支えられ、当面は公共投資や民間設備投資は安定的に推移する見込みであります。

当期から新たに第17次経営計画をスタートさせ、引続き4つの経営目標を定め、あらためて、「安全と技術の名工」「社員が誇れる企業」を目指すことにしております。

具体的な経営目標としましては、事故を発生させない「安全最優先の企業風土の定着」、新幹線大規模改修工事や新幹線脱線・逸脱防止対策工事など「長期にわたるプロジェクトの確実な施工」、鉄道工事を基盤として官公庁・民間工事の強化を目指す「バランスのとれたゼネコンとしての総合力の強化」、そして中長期的な要員を確保し、内部統制の充実を図り環境変化にしっかり対応できる「持続的成長を目指す経営基盤の強化」の4項目を掲げ、すべての目標においてワンランク上を目指し、質の向上に全社を挙げて取り組んでいくことにしております。

当連結会計年度の業績は以下の通りであります。

受注高	924億91百万円（前期比 11.0%増） （内訳：土木工事 632億円 建築工事 292億円）
売上高	965億69百万円（前期比 9.2%増） （内訳：土木工事 688億円 建築工事 267億円 兼業事業 9億円）
売上総利益	107億69百万円（前期比 1.2%減）
営業利益	57億 8百万円（前期比 0.2%増）
経常利益	59億71百万円（前期比 1.0%増）
親会社株主に帰属する当期純利益	40億99百万円（前期比 4.2%減）

### 3. 配当について

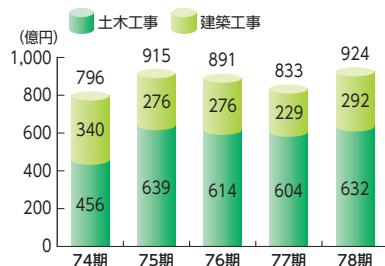
当社は安定収益を確保して、株主資本の充実や設備投資に備えた内部留保を行いながら、安定配当を行うことを基本方針としておりますが、当社グループの当期の業績や今後の事業展開を総合的に勘案し、1株当たり1円増額し年19円といたします。

当期の期末配当は令和元年6月10日を配当支払開始日として1株につき10円とし、中間・期末合計で年19円の配当を実施いたしました。

来期以降につきましても中間・期末の合算で1株当たり年19円の配当とする方針であります。

## 財務ハイライト（連結）

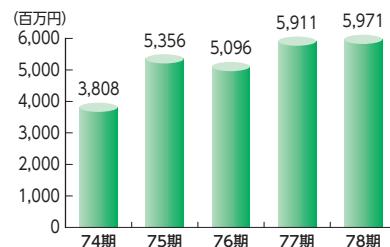
### ● 受注高



### ● 売上高



### ● 経常利益



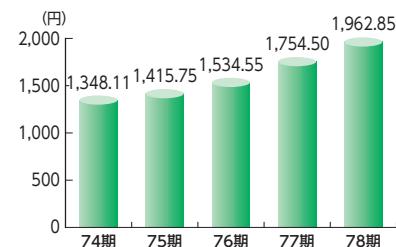
### ● 親会社株主に帰属する当期純利益



### ● 1株当たり当期純利益



### ● 1株当たり純資産額



## 部門別の概況（個別）

### 土木部門

土木部門におきましては、期初の繰越工事が前期を上回る586億円強と潤沢にあり、前期に続き「既受注工事の確実な施工」を念頭に置き事業を推進しました。その中で、慢性的な要員不足に対する「効率的な要員配置」、人材育成・女性活躍を目的とする「計画的なジョブローテーション」、技術力の維持・生産性の向上を目的とする「ICTとCIMの活用」などに取り組みました。

部門の主軸となる鉄道関連工事におきましては、鉄道輸送の安全確保を最優先とする「施工体制の整備」を継続し、6年目を迎えた新幹線大規模改修工事や中央新幹線建設工事、維持補修工事などはもちろん、相次ぐ自然災害あるいは異常気象による被害への応急対応など、顧客の信頼に応えることを重点に事業を推進しました。

官公庁工事につきましては、多様化する総合評価落札方式に適切に対応するとともに、企業点の向上、技術提案力・積算力・価格競争力の強化に努め、採算性・効率性・特殊性を踏まえた選別受注に取り組みました。

民間工事につきましては、新幹線大規模改修工事Ⅱ期工事（平成31年度分）、新幹線253K134付近第三浜名橋りょうほか2橋橋脚修繕などの鉄道関連工事を受注しました。

この結果、受注高につきましては、前期比約28億円増（4.6%増）の632億円となりました。受注高の内訳は官公庁工事108億円、民間工事524億円です。

完成工事高につきましては、期初の繰越工事、新幹線大規模改修工事および多年度に亘る官公庁・民間鉄道関連の大型工事などが寄与したことにより、前期比約96億円増（16.1%増）の688億円となりました。完成工事高の内訳は官公庁工事155億円、民間工事533億円です。

軌道関連工事におきましては、東海旅客鉄道株式会社の新幹線・在来線の保守工事を中心に順調に受注しました。新幹線につきましては、平成21年度より実施している新幹線脱線・逸脱防止対策工事の受注も続き、工事も順調に進んでいます。

また、名古屋市営地下鉄、第三セクターの保守工事、樽見鉄道の高架化工事なども継続して施工し、樽見鉄道については土木工事と調整しながら工事を進めています。平成26年2月より進めていた、えちぜん鉄道高架化に伴う線路新設・切換等の工事については平成31年3月に完了しました。

海外工事のインドネシアジャカルタ都市高速鉄道南北線（地下鉄）軌道工事は、平成29年2月より現場に技術者を派遣しておりましたが、平成30年8月末に軌道工事を完成させ、平成31年4月に開業を迎えました。

受注高につきましては、新幹線脱線・逸脱防止対策工事の工事量と材料費の増加などを受け、前期比約75億円増（41.4%増）の256億円となりました。

完成工事高につきましても、前期比約30億円増（14.5%増）の236億円となりました。

当期の主な受注工事は次のとおりです。

- |                                 |               |
|---------------------------------|---------------|
| ①米原保線所管内土木構造物大規模改修その他工事（RC橋H31） | （東海旅客鉄道株式会社）  |
| ②東名高速道路 豊田橋7橋下部工耐震補強工事（平成30年度）  | （中日本高速道路株式会社） |
| ③東海北陸自動車道 上見橋（上・下部工）工事          | （中日本高速道路株式会社） |
| ④呑川防潮堤耐震補強工事（その16）              | （東京都）         |
| ⑤橋りょう整備事業県道羽島稲沢線新濃尾大橋下部工事       | （愛知県）         |
| ⑥正江橋（仮称）築造工事（左岸取付道PC上部工）（その2）   | （名古屋市）        |

当期の主な完成工事は次のとおりです。

- |                                 |                   |
|---------------------------------|-------------------|
| ①米原保線所管内土木構造物大規模改修その他工事（RC橋H30） | （東海旅客鉄道株式会社）      |
| ②飯田線下平Bo改築                      | （東海旅客鉄道株式会社）      |
| ③奈川渡改良付替道路工事                    | （国土交通省関東地方整備局）    |
| ④平成29年度 名二環服部5高架橋北下部工事          | （国土交通省中部地方整備局）    |
| ⑤橋りょう整備事業 県道羽島稲沢線 新濃尾大橋 下部工事    | （愛知県）             |
| ⑥えちぜん鉄道、仮線てっ去他                  | （鉄道建設・運輸施設整備支援機構） |

## 建築部門

建築部門を取り巻く受注環境は、建設投資については底堅く、なかでも民間住宅投資、非住宅投資、いずれも堅調に推移したことから、他社との競合に対応するため設計・積算・コスト競争力の強化を行い戦略的な選別受注に取り組みました。また、設計施工物件の受注を拡大すべくBIMの強化はもちろん、ZEB（総合エネルギー消費量ゼロの建物）プランナーの登録を行うなど、設計提案力の強化を念頭に事業を推進しました。

受注高につきましては、前期比約63億円増（27.7%増）の292億円となりました。受注高の内訳は官公庁工事74億円、民間工事218億円です。

完成工事高につきましては、期初の繰越工事量が減少したことにより、前期比約13億円減（4.9%減）の267億円となりました。完成工事高の内訳は官公庁工事75億円、民間工事192億円です。

建築技術の研究開発につきましては、当社にて開発しました耐震補強工法（SMIC工法・集合住宅SMIC工法）の事業展開を進めております。展示会や見学会などの催しを継続的にを行い、公共施設や民間施設等の潜在的な需要を掘り起こす取り組みを行い、安定した収益が得られるように努力しています。

当期の主な受注工事は次のとおりです。

- |                                    |                      |
|------------------------------------|----------------------|
| ①新東名高速道路 伊勢原JCT～伊勢原北IC間管理施設新築工事    | （中日本高速道路株式会社）        |
| ②桑名駅改築                             | （東海旅客鉄道株式会社）         |
| ③フジトランスコーポレーション 豊田物流センター 2号倉庫 新築工事 | （株式会社フジトランスコーポレーション） |
| ④又穂団地建替工事                          | （都市再生機構）             |
| ⑤台東区小島2丁目計画新築工事                    | （三菱地所レジデンス株式会社）      |
| ⑥（仮称）N3計画 新築工事                     | （株式会社三菱UFJ銀行）        |

当期の主な完成工事は次のとおりです。

- |                           |                   |
|---------------------------|-------------------|
| ①ラグーナベイコート寮新築工事           | （リゾートトラスト株式会社）    |
| ②えちぜん鉄道、福井駅外2箇所新築         | （鉄道建設・運輸施設整備支援機構） |
| ③ザ・パークハウス塚口 新築工事          | （三菱地所レジデンス株式会社）   |
| ④尾張北東地区新設特別支援学校（仮称）校舎建築工事 | （愛知県）             |
| ⑤株式会社マルアイ 化成品工場新築工事       | （株式会社マルアイ）        |
| ⑥歴史の里ガイダンス施設新築工事          | （名古屋市）            |

# 決算の概況

## 連結貸借対照表

(平成31年3月31日現在)  
(単位：百万円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	55,118	流 動 負 債	31,883
現 金 預 金	8,263	支払手形・工事未払金等	12,284
受取手形・完成工事未収入金等	43,494	電子記録債務	7,910
電子記録債権	663	短期借入金	1,318
未成工事支出金	961	1年以内償還予定の社債	1,000
その他のたな卸資産	202	未払法人税等	1,160
そ の 他	1,557	未成工事受入金	1,132
貸倒引当金	△24	完成工事補償引当金	21
固 定 資 産	34,662	工事損失引当金	230
有形固定資産	12,086	賞与引当金	2,548
建物・構築物	7,359	役員賞与引当金	73
機械・運搬具及び工具器具備品	782	そ の 他	4,203
土 地	3,942	固 定 負 債	8,138
建設仮勘定	2	社 債	200
無形固定資産	709	長期借入金	1,814
ソフトウェア	686	繰延税金負債	3,099
そ の 他	23	退職給付に係る負債	2,249
投資その他の資産	21,866	そ の 他	774
投資有価証券	21,378	負 債 合 計	40,021
そ の 他	509		
貸倒引当金	△21		
資 産 合 計	89,780	純 資 産 の 部	
		科 目	金 額
		株 主 資 本	39,500
		資 本 金	1,594
		資 本 剰 余 金	1,823
		利 益 剰 余 金	37,031
		自 己 株 式	△948
		その他の包括利益累計額	10,050
		その他有価証券評価差額金	10,345
		退職給付に係る調整累計額	△295
		非支配株主持分	209
		純 資 産 合 計	49,759
		負 債 純 資 産 合 計	89,780

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)  
(単位：百万円)

科 目	金 額	金 額
売上高		
完成工事高	95,585	
兼業事業売上高	984	96,569
売上原価		
完成工事原価	85,090	
兼業事業売上原価	709	85,799
売上総利益		
完成工事総利益	10,494	
兼業事業総利益	274	10,769
販売費及び一般管理費		5,061
営業利益		5,708
営業外収益		
受取利息	0	
受取配当金	240	
受取地代家賃	77	
そ の 他	32	350
営業外費用		
支払利息	75	
そ の 他	11	87
経常利益		5,971
特別利益		
固定資産売却益	1	
そ の 他	0	1
特別損失		
固定資産除却損	13	
有価証券評価損	17	
そ の 他	0	31
税金等調整前当期純利益		5,941
法人税、住民税及び事業税	2,132	
法人税等調整額	△310	1,822
当期純利益		4,118
非支配株主に帰属する当期純利益		19
親会社株主に帰属する当期純利益		4,099

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 主な完成工事

## ●土木



飯田線下平Bo改築  
(長野県下伊那郡高森町)



平成29年度 名二環服部5高架橋北下部工事  
(愛知県名古屋)



正江橋（仮称）築造工事（左岸取付道下部工）  
(愛知県名古屋)

## ●建築



平成29年度道路維持修繕 国交付金事業（防災・安全交）（市）  
若林101号線（伊場跨線橋）補修工事（静岡県浜松市）



ラグーナハイコート倶楽部 ホテル&スパリゾート 寮新築工事  
(愛知県蒲郡市)



ザ・パークハウス塚口 新築工事  
(兵庫県尼崎市)



えちぜん鉄道、福井駅外2箇所新築  
(福井県福井市)



株式会社マルアイ 化成工場新築工事  
(山梨県西八代郡市川三郷町)



歴史の里ガイダンス施設新築工事  
(愛知県名古屋)

# JR高山本線の災害応急工事について

平成30年6月28日から7月8日頃にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方など全国的に広い範囲で記録された台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨により、JR高山本線・飯田線の各所において倒木、落石、土砂流出入など甚大な被害がもたらされました。

特に高山本線においては、線路内へ大量の土砂が流入し線路設備が流出する等の被害が、飛騨金山～上呂間で19箇所、角川～打保間で4箇所発生しました。

当社も東海旅客鉄道株式会社からの要請を受け、早期運転再開に向けてこれらの応急工事に全力を尽くし、平成30年8月11日の飛騨金山～下呂間の運転再開、そして平成30年11月21日の坂上～猪谷間の運転再開に伴う全線復旧開通に大きく貢献することができました。

今後も鉄道インフラを支える企業として、異常気象に対する防災対策や発災後の復旧に力を尽くし、“社会にとって価値ある企業”として認知していただけるよう事業に邁進していきます。

(応急工事紹介)

○飛騨萩原・上呂間 応急工事

(着工前)



(竣工)



○飛騨金山・少ヶ野間 応急工事

(着工前)



(竣工)



# インドネシア地下鉄軌道工事が完了

平成31年4月、インドネシア初の地下鉄となる「ジャカルタ都市高速鉄道南北線（15.7km）」が開業されました。当社では、平成28年1月に同線軌道工事に関するスーパーバイザー契約を締結して以降、日本国内にて計画作業を始め、平成29年2月よりインドネシアに最大7名の技術者を派遣し技術指導を行ってきました。

工程面では、土木工事の遅れによる影響、また品質面ではインドネシア初となる軌道構造（弾性直結軌道）であることから、日本の仕上がり基準の高さに対し、現地軌道業者の理解が得られず難航したこともありましたが、協議を重ね工期内に完成させることができました。

試運転では、運転手および試乗した方から「素晴らしい乗り心地」と高評価をいただき、当社の高い技術力が評価されました。



## 「けんせつ小町」登録・活動状況の紹介

「けんせつ小町」とは建設業で働くすべての女性の愛称であり、当社が会員となっている一般社団法人日本建設業連合会にて、多数の女性が施工に従事または女性が中心となって施工を担う工事チームを登録、活動状況をホームページで紹介するなど、建設業のイメージアップを推進する取り組みです。

当社も、中期計画である第17次経営計画（2018年度～2020年度）において「女性社員を継続して積極的に採用し、現場を含めさまざまな職域で活躍できるよう全社で支援する」と目標を定めており、既に複数の現場を当制度に登録、女性社員を対象とした現場見学会や環境整備等さまざまな活動を行っています。平成30年12月には現場で勤務する女性社員がCBCラジオに出演し、当制度のPRを行いました。

今後も、さらなる現場環境の改善への取り組みのほか、当制度のPRについても積極的に行っていきます。

(現場見学会の様子)



(登録証)



登録証

登録 No.00220

IZUMI小町  
名工建設株式会社 殿

貴社が申請された登記チームについて、日建連の「けんせつ小町工事チーム」として登録したことをここに証します。

平成30年8月27日

一般社団法人 日本建設業連合会  
会長 山内 隆司

# 『第17次経営計画』 — 初年度を終えて

当社の中期計画（3ヵ年）である『第17次経営計画』（2018年度～2020年度）が初年度の第78期を終えました。

この第17次経営計画では、「これまでの経営計画の方針を踏まえつつ、安全をはじめとしたすべての目標においてワンランク上を目指し、質の向上に取り組む」こととしています。

初年度を終えての進捗状況について、下記のとおりご報告いたします。

## 【経営目標1】「安全最優先の企業風土の定着」について

- 当期には、安全最優先の企業風土の定着を実現するために、「安全探究ルーム」を開設し安全教育の充実を図るとともに、名工建設企業憲章「安全第一の理念教育」、「安全のための本質を探究する運動」および「工事の各段階におけるリスク排除」を、3つの柱として推進しました。
- これらの取り組みの結果、労働災害では重大事象の発生を少なく抑えることができましたが、列車の運行に遅延や運休をもたらす事故については、反省すべき事故を発生させてしまい、課題を残しました。

## 【経営目標2】「長期にわたるプロジェクトの確実な施工」について

- 新幹線大規模改修工事は計画どおり確実に施工し、新幹線脱線・逸脱防止対策工事、脱防ガード脱落防止対策も的確に対応しました。
- 中央新幹線や北陸新幹線（金沢～敦賀間）の建設工事について、既受注工事は着実に施工しています。

## 【経営目標3】「バランスのとれたゼネコンとしての総合力の強化」について

- 企業評価点向上策をはじめとする既受注工事の総合評価方式への取り組みを継続し、当期も高い工事評定点や工事表彰の獲得につなげることができました。土木部門・建築部門ともに官公庁工事における競争力を維持し、順調に受注を確保することができました。
- 民間建築工事においては、継続的かつ安定的に採算性を向上させるため選別受注を進め、顧客基盤の拡充やコスト競争力強化による特命率アップにつながりました。

## 【経営目標4】「持続的成長を目指す経営基盤の強化」について

- 鉄道関連工事・官公庁工事・民間工事の中長期的な完成工事高を念頭に置いて、これらの継続的な施工に必要な要員を確保できる採用計画を策定しました。
- 労働時間の適正な把握のために、始業・終業時刻を確認・記録することから、ワーク・ライフ・バランスの推進に本格的に取り組んでいます。
- コンプライアンス教育を継続して実施するとともに、内部統制を一段と充実させ、不正・不適切行為などの法令遵守違反が発生しないように各種施策を実施していきます。

## 役員及び株式の状況

### 取締役及び監査役 (令和元年6月27日現在)

代表取締役社長	渡邊 清
取締役	甲坂 友昭
取締役	佐藤 武男
取締役	岡田 裕輝
取締役	里川 幸夫
取締役	速水 政彦
取締役	墨 弘昭
取締役	栞原 一生
取締役	本川 正明
取締役	石川 正俊※
常勤監査役	佐藤 寛爾
常勤監査役	若杉 修司※
監査役	高木 洋隆
監査役	田宮 正道※

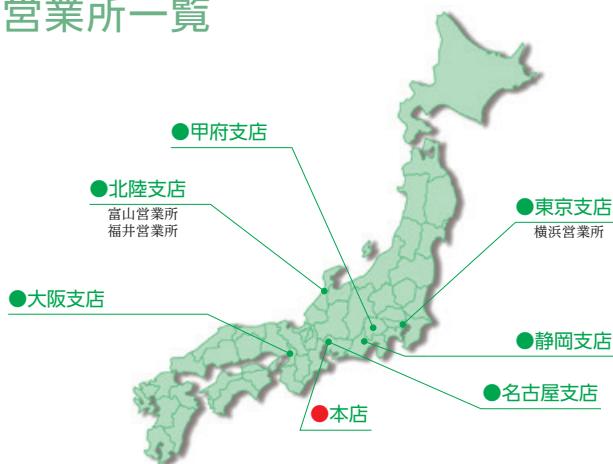
※印は、第78回定時株主総会で新たに選任された役員です。

### 株式の状況 (平成31年3月31日現在)

発行済株式の総数		当期末株主数	
27,060千株		1,821名	
大株主			
株主名	持株数	持株比率	
	千株	%	
東海旅客鉄道株式会社	2,139	8.47	
名工建設社員持株会	1,706	6.76	
株式会社三菱UFJ銀行	1,200	4.75	
MSIP CLIENT SECURITIES	1,066	4.22	
株式会社りそな銀行	948	3.75	
株式会社北陸銀行	913	3.61	
株式会社みずほ銀行	806	3.19	
興和株式会社	635	2.51	
楽天損害保険株式会社	632	2.50	
東鉄工業株式会社	524	2.07	

※自己株式(1,815千株)を除く

## 営業所一覧



## 会社概要

- 商 号  
名工建設株式会社
- 英 文 商 号  
MEIKO CONSTRUCTION CO.,LTD.
- 設 立  
昭和16年6月28日
- 資 本 金  
15億9,450万円
- 発行済株式数  
27,060千株
- 従 業 員 数 (連 結)  
1,267名 (平成31年3月31日現在)
- 本店所在地  
名古屋市中村区名駅一丁目1番4号  
JRセントラルタワーズ34階

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔郵便物送付先〕 〔電話照会先〕	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 電子公告掲載URL <a href="http://www.meikokensetsu.co.jp/ir/koukoku">http://www.meikokensetsu.co.jp/ir/koukoku</a>

## お知らせ

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## ホームページのご案内

<http://www.meikokensetsu.co.jp/>

ホームページにて当社の企業情報を随時公開しております。  
施工実績、技術紹介など各種情報を掲載しているほか、IR情報のページでは決算短信などもご覧いただけます。

